

第15回、映画上映会のお知らせ！

タイトル：七人の侍

兼2月弘明寺サロン

日時：2020年2月8日(土) 13:00~17:10

会場：放送大学神奈川学習センター 第7講義室

プログラム

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 13:00~13:10 学歌斉唱 | 3. 17:00~17:10 太極拳実演 |
| 2. 13:10~17:10 映画上映(中間休憩) | 4. 17:00~懇親会 |

解説：『七人の侍』は、1954年(昭和29年)4月26日に公開された日本映画である。監督は黒澤明、主演は三船敏郎と志村喬。当時の通常作品の7倍ほどに匹敵する製作費をかけ、日本の戦国時代を舞台とし、野武士の略奪により困窮した百姓に雇われる形で集った7人の侍が、身分差による軋轢を乗り越えながら協力して野武士の一団と戦う物語。

ストーリー：麦の刈入れが終る頃、野伏せりがやって来る。去年襲われた村人は恐怖におののいた。闘っても勝目はないし、負ければ村中皆殺しだ。村を守るには侍を備うことだ、長老儀作の決断によって茂助、利吉等は侍探しに出発した。智勇を備えた歴戦の古豪勤兵衛の協力で五郎兵衛、久蔵、平八、七郎次、勝四郎が選ばれた。菊千代は家族を野武士に皆殺しにされた百姓の孤児で野性そのままの男である。村人は特に不安を感じていたが、菊千代の行動によってだんだん理解が生れていった。村の防衛体勢は整えられ戦闘訓練が始った。刈入れが終ると野武士の襲撃が始り、物見の三人を久蔵、菊千代が倒した。利吉の案内で久蔵、菊千代、平八が夜討を決行し火をかけた。山寨には野武士に奪われた利吉の恋女房が居た。彼女は利吉の顔を見ると泣声をあげて燃える火の中に身を投じた。この夜敵十人を斬ったが、平八は種力島に倒れた。夜が明けると野武士は村を襲って来た。侍を中心に百姓も鎌や丸太を持って村を死守した。美しい村の娘志乃は男装をさせられていたが、勝四郎にその秘密を知られ二人の間には恋が芽生えた。決戦の前夜、志乃は勝四郎を納屋に誘い二人の体はもつれ合って藁の中へ倒れた。翌朝、十三騎に減った野武士の一団が雨の中を村になだれこんだ。斬り込んだ侍達と百姓達は死物狂いで闘い、久蔵、五郎兵衛が倒れた。怒りに燃えた菊千代は最後の一人を屋根に追いつめたが、敵の弾をうけ、差しちがえて討死した。野武士は全滅した。しかし百姓も数人倒れ、七人の侍の中四人が死んだ。新しい土饅頭の前に立った勤兵衛、七郎次、勝四郎は、六月の爽やかな風の中で働いている百姓達を静かに眺めた。志乃も何かを振り捨てるように大声で田植唄をうたっていた。「勝ったのはあの百姓達だ。わし達ではない。」田の面をみながら勤兵衛がつぶやいた。



入場無料 事前申し込み不要
どなたでも参加できます、直接会場にお越し下さい

主催：放送大学神奈川同窓会

担当：映画研究同好会 寺村 紀美夫、柳澤 明男、大野 貴司、呉 春美、田辺 桂子